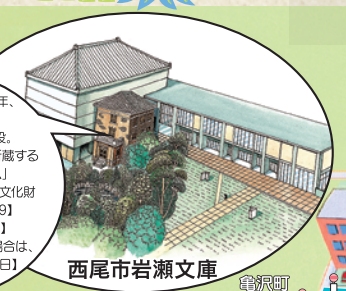
グルメと一緒に西尾の街も楽しもう！
小京都散策MAP

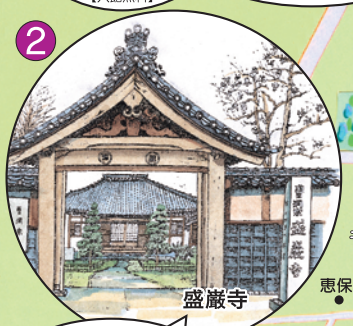
西尾観光案内所に詳細な散策マップをご用意しております。散策前にお立ち寄り頂くと便利です。

① 西尾市岩瀬文庫



古書の博物館明治41年、市内の実業家岩瀬弥助によって創設。貴重な古典籍8万冊余を所蔵する「古書のミュージアム」赤煉瓦の書庫は国の登録文化財
【TEL 0563-56-2459】
【開館：9:00～17:00】
【休館日：月曜日（祝日の場合は、開館）、毎月第3木曜日】
【入館無料】

② 盛巌寺

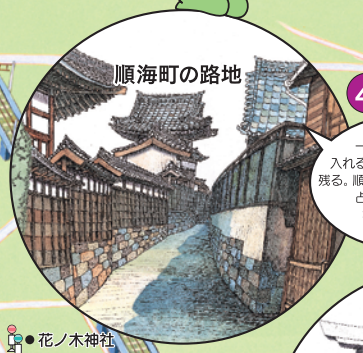


西尾藩主大給松平乗全公とその妻の墓が残る。

③ 西尾市歴史公園

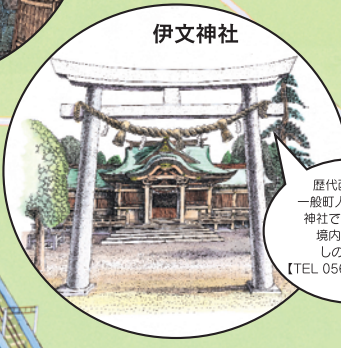
城下町のシンボル西尾城本丸丑寅櫓や鏡石門がある。

④ 順海町の路地



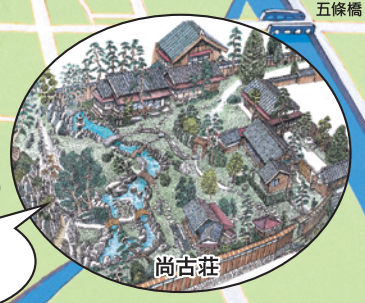
一歩裏手に足を踏み入れると城下町当時の路地が残る。順海町の名は唯法寺の僧、占部順海から付けられたものである。

⑤ 伊文神社



歴代西尾城主、一般町人の信仰厚い神社で森閑とした境内が往時をしのばせる。
【TEL 0563-57-2838】

⑥ 尚古荘



西尾城東之丸跡に昭和初期に茶室、東屋、日本庭園が作られ、人々の集会の場として使われた。

幸せを呼ぶ 御朱印めぐり！

全5箇所

御朱印

このマークがついている神社・寺院では御朱印をもらうことができます
西尾の街を散歩しながら御朱印も集めてみましょう！
※事前に在寺、在社の確認が必要です。（不在の場合があります）

Aコース　西尾駅起終点　約3時間コース

	移動所要時間
1.西尾駅	
2.歴史公園	約15分
3.尚古荘	約5分
4.康全寺	約5分
5.天王門跡	約14分
6.伊文神社	約1分
7.妙満寺	約10分
8.追羽門跡	約5分
9.盛巌寺	約7分
10.西尾市岩瀬文庫	約5分
11.西尾駅	約20分

【休憩所】西尾市岩瀬文庫・歴史公園
【トイレ】歴史公園・尚古荘・井桁屋公園・伊文神社・西尾市岩瀬文庫

西尾城

13世紀前半の鎌倉時代、西尾の古い名称である吉良荘は足利（吉良）氏に統治されるようになり、応仁の乱以降、各地の城が築かれるなかで、現在地に規模の大きい城郭が建てられた。
天正13年（1585年）徳川家康の命で西三河南部の拠点として城郭が拡張・整備された。江戸時代には、城下町の整備が進み、明和元年（1764年）に大給松平氏が西尾藩主となると六万石の城下町として栄えた。明治5年（1872年）に廃城となり、建物はほとんど壊された。
現在は、西尾城二之丸跡地へ天守台、丑寅櫓台の石垣が復元され、西尾市の歴史と文化を体感できる施設として親しまれている。

盛巌寺（曹洞宗）

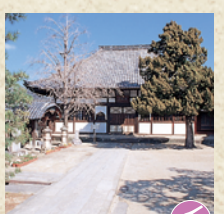
大給松平氏六代の家乗が、祖父と父の菩提を弔うため、上野国那波城（伊勢崎市）に在城の折、同地に建立したのが始まりであり、明和元年（1764年）に11代乗祐が西尾藩主となった時、出羽（山形）から現在地に移った。西尾藩主松平乗全の墓のほか日本で3番目に女医となった高橋瑞子建立の碑がある。【TEL 0563-57-5513】

本丸丑寅櫓

櫓の高さ約10mで三層からなる。面積は一・二階が6m四方、三階が4m四方となっており、中に入ることができる。屋根は本瓦葺、壁面は各層とも上部は漆喰塗籠、腰部は下見板張。（平成8年再建）

旧近衛邸

京都の近衛邸内にあった、書院と茶室を平成7年に移築した。（江戸末期の建物と推定される。）
書院は十畳の「一の間」と八畳の「二の間」があり、簡素で落ちついた数寄屋造りである。
茶室は六畳の茶室と「次の間」、畳廊下からなっており「亭主床」と呼ぶ特異な構成で、公家の茶の湯にふさわしいつくりとなっている。現在は当施設内でお抹茶の一服ができる。
イベント体験 西尾抹茶一服



康全寺（曹洞宗）

応永5年（1398年）、吉良上満全寺として、異国僧却外乗空禅師が復興した。天正9年（1581年）、酒井重忠の城主時代、徳川家康がこの寺に泊まった折に、家康から一字をもらい、西尾山康全寺と改めたという。同13年、西尾城拡張の際に現在地に移し、鎮城の禅寺としたと伝えられる。
【TEL 0563-57-3285】

Bコース　西尾駅起終点　約3時間30分コース

	移動所要時間
1.西尾駅	
2.みどり川桜並木	約5分
3.天王門跡	約15分
4.伊文神社	約1分
5.妙満寺	約7分
6.盛巌寺	約7分
7.西尾市岩瀬文庫	約5分
8.鶴ケ崎天満宮	約11分
9.縁心寺	約3分
10.聖運寺	約1分
11.歴史公園	約15分
12.尚古荘	約5分
13.新門跡	約1分
14.大手門跡	約10分
15.唯法寺	約10分
16.丁田門跡	約10分
17.西尾駅	約15分

【休憩所】西尾駅・西尾市岩瀬文庫・歴史公園
【トイレ】西尾駅・伊文神社・西尾市岩瀬文庫・聖運寺・歴史公園

縁心寺（浄土宗）

西尾城主本多康俊が、慶長７年（1602 年）に建立した。本堂内の砥石地蔵は産婦が祈願すれば安産となると信じられている。西尾藩士、若林喜惣兵衛の墓があり、酒を供えれば子供の夜泣きが治るといわれている。
【TEL 0563-57-2391】

順海町通り

天王町から肴町へぬける小径である。順海町の地名の由来は、唯法寺の和尚順海がこの道を開いたことによると伝えられる。この通りは市内で一番城下町のたたずまいが残っている。

※熱中症にご注意ください。こまめな水分補給や帽子をかぶるなど、熱中症対策をして散策してください。